

平成 30 年度
決算報告書

第15期事業年度

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

国立大学法人香川大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,646	10,986	340	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	449	472	23	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	177	389	212	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	-	
自己収入	22,235	23,564	1,330	
授業料、入学金及び検定料収入	3,846	3,870	23	(注4)
附属病院収入	18,227	19,333	1,106	(注5)
雑収入	162	362	200	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,603	1,537	△ 67	(注7)
引当金取崩額	179	205	26	(注8)
長期借入金収入	2,833	2,833	0	
目的積立金取崩額	120	219	99	(注9)
計	38,280	40,243	1,963	
支出				
業務費	32,342	33,503	1,160	
教育研究経費	14,213	14,137	△ 75	(注10)
うち補正予算にかかる授業料免除事業	-	-	-	
診療経費	18,130	19,365	1,236	(注11)
施設整備費	3,321	3,343	23	(注12)
補助金等	177	389	212	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,603	1,523	△ 80	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	837	807	△ 30	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	38,280	39,566	1,286	
収入-支出	-	677	677	

※上記の金額は、すべて百万円未満四捨五入で表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国の補正予算における授業料免除枠の拡大に伴う運営費交付金が交付されたこと及び国立大学法人の行う退職手当等事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が340百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国の補正予算における災害復旧事業等の施設整備費補助金が交付されたことにより、決算金額が23百万円多額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、補助金獲得額の増加により、予算金額に比して決算金額が212百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者の増加等により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、外来患者数の増加等に伴う収入増により、予算金額に比して決算金額が1,106百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費受入額の増等により、予算金額に比して決算金額が200百万円多額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国、特殊法人及び民間からの受託研究費等の受入額の減少により、予算金額に比して決算金額が67百万円少額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が26百万円多額となっている。
- (注9) 目的積立金取崩額については、教育研究及び医療の質の向上のための環境整備等事業を行ったことにより、予算金額に比して決算金額が99百万円多額となっている。
- (注10) 経費の節減等に努めたため、予算金額に比して決算金額が75百万円少額となっている。
- (注11) 外来患者数等の増加による診療経費の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,236百万円多額となっている。
- (注12) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっている。
- (注13) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が212百万円多額となっている。
- (注14) 注7に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が80百万円少額となっている。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直し等により、予算金額に比して決算金額が30百万円少額となっている。